

ヒアリングノート

◇文化財担当部門と図書館本館の連携について

- 資料の持ち合いについて（図書資料、現物資料、）
- 展示（収集や研究にもとづく）の協働の可能性
- パルテノン多摩改修と博物館機能の方向性について

→文化財、パルテノン、図書館の3者で
分担と連携をこれから協議してゆく。

- 2018.01.26. PM13:30~14:00 第1回打合わせ
出席
○教育振興課文化財係：山崎副参事
○図書館担当：中島本館整備担当課長
笹原企画運営担当主査
○コンサル：寺田

◇検討委員会への伝達項目

◇連携のこれまでとこれから

- ・中央公園界隈では、旧富澤家を舞台にした活動などの連携や、常設ではなくても文化財展示の出来る図書館などが構想で提案されている。パルテノンの部門と3者での分担について今後、整理してゆきたい。（古文書等は文化財係、近代の写真資料はパルテノン、図書館はパルテノン第1収蔵庫に郷土資料を保管している。）
- ・これまで多摩センター活性化、人を呼べる催事ということで、①特別展示を実施してきて、来年度は②明治150年に当たる関係企画（富澤家展示）や③文化財審議会委員等の連続講演会を予定。
- ・今後は図書館資料も活用した文化財展示で、ニュータウン関係、小学校教科書、戦中～戦後の雑誌に見る世界（漫画）などの、企画を考えている。図書館の会議室は、研究的連続講座の場にできるだろうか。

◇資料に対応した役割分担

- ・パルテノンでの展示資料のほとんどは教育委員会資料。写真類の収集はパルテノン独自のコレクション。パルテノンは、くらしと文化部に帰属する。
- ・パルテノンは、収蔵庫および文化財収蔵の業務を管理、今後も一部継続。燻蒸処理は教育振興課が業者に委託している。
- ・3者で共用できる地域資料目録（電子化）を作ってゆく検討をする。

- ・歴史的公文書、行政文書は時代区分で対応していきたい。（～M22～S46～）S46～の町制施行以降の行政文書は、図書館と文化財で持ち合い。資料とマイクロフィルムは今後パルテノンや旧北貝取小に移設も検討していく。

- ・NT関係資料は3者で持つが指定管理者のパルテノンが一番多く持っている。
- ・町制施行以降は図書館地域資料とする考え方もある。（現物でなくても市民が利用できる状況を作ればよいのではないか。）収集した図書館のNT資料は、公開の条件確認が難しいものもある。
- ・今後パルテノンの展示は、市民との企画展示や市民研究にも重点が移るか。学芸員は特別企画展、縮小した常設展は多摩NTに特化のイメージか？

◇それぞれの専門性を総合化する収集と展示における連携

- ・文化財が本館2階でやっている地域資料展示を将来に学芸員と司書の協働でやっていくことも考える。図書館側の体制と担当の準備が必要。そこでの企画展示の集積も、デジタル整理して新たな地域資料構築を。
- ・地域資料整理協働の難しさは、博物館の分類体系や学芸員のアーカイブ式、司書のNDC分類方式の違いによる。双方を理解する3者の人材育成も必要になる。（港区などは図書館・文化財課を作り一体的事業推進をしている。）
- ・目録の共通化と資料のコレクション共有に向けて、3者連携が必要。

◇関連して

- ・旧北貝取小施設の活用については文化財で検討している。
- ・今後の文化財事業では、地域を表現するような企画展示や人物紹介の企画展示をイメージ中。
- ・長期的な視点だが、今後30年パルテノンの博物館機能は残るだろうか。
- ・郷土資料の目録公開は、個別個人情報確認を要するので容易でない。
- ・今後発生する新たな個人所蔵の郷土資料の予測も難しくなっている。

- 図書館本館整備で、地域資料の収集と展示について方針を議論し設定したい。
- 図書館本館整備後、郷土資料の展示協働。
- 図書館本館整備後、講演会の場の共用。
- 今後の行政文書の、文化財と図書館での持ち合いについて方針議論が必要か。
- 今後、ニュータウン資料は指定管理で収集と展示の方針かは、議論テーマか。
- 地域資料の展示表現を学芸員と協働で行うには図書館に担当部門確立が必要。
- 企画展示の集積をストックして、地域資料の蓄積とパスファインダー化を。
- 展示ショーケースを組み込んだ図書館地域資料書架の事例写真をご紹介。
- 議論のための3者連携の概念図がある。

ヒアリングノート

◇図書館本館再整備基本計画のヒアリング趣旨について

- ・新たな協議会委員のみなさんに基本構想の概要説明
- ・基本計画再開の経緯
- ・基本計画検討委員会の進み方
- ・図書館計画敷地の変更、敷地の状況説明

- ・これから始まる基本計画、もしくは多摩市立図書館本館への図書館協議会のみなさんからのご意見

2018.02.02. PM:15:00~16:00 第1回打合わせ

出席

- 図書館協議会：松本直樹会長 中根郁子副会長
小山憲司委員 森和代委員 玉木康平委員
(欠：吉田正行委員 伊沢尚子委員、)
- 図書館本館整備担当：中島課長、
- 図書館：栗崎館長、米山サービス係長、
笹原企画運営担当主査、福島主事
- コンサル：寺田、中野

◇検討委員会への伝達項目

◇ご意見やご質問

- ・事前に十分な情報提供が無く、急に意見を言えない。
(協議会に2回連続で参加してご意見を聞く予定でしたが、次回の協議会が流れたので、急遽今回だけになった。申し訳ない。
基本計画検討委員会中盤で、再度機会を頂けると思う。)
- ・敷地は傾斜していて、三層の施設の場合それぞれの階、それぞれの方角からアプローチ出来ると理解した。
- ・こういう敷地だと土工事は大きくなるのか。またできるのか。
- ・中島課長が、地域館規模について、浦安、調布、多摩を比較して説明。
地域館についても、いろいろな本の置き方がある。
- ・図書館本館建設事業費を押さえて、次世代に負担を残さないのがよい。
- ・図書館経費をライフサイクルコストでとらえてみると、建設費よりも人件費やランニングコストが末永く効いてくる。コンパクトな少人数運営のできる平面計画や省エネができる施設であることも大切だ。
- ・公共サービス効果はインシヤルコストだけでは計れない。
施策の投資とのバランスをみるのが大切だ。
- ・図書館も公共的社会装置であるから、外部効果や教育効果、多様な効果をふまえて考えると良い。
- ・新しい図書館本館は、ショッピングセンターのように見えるのか。
- ・ラーニングコモンズにあるような出会いは、図書館本館だけでなく、身近な地域館との役割分担があるのではないか。
- ・他の部局の行政施策との協働が大切だろう。
就職支援、PC利用、30年後のイメージを持つべきだ。
- ・情報通信のあり方はどうなってゆくのか。
- ・ヤングアダルトの溜まり場は？
- ・本館では何を大切にするのか。
- ・総合災害への対策はどうなってゆくのか。
- ・大きな声で絵本が読めない、自由に本が読める場を。
- ・パルテノン多摩との連携を。
- ・民家で絵本を読めるような雰囲気が好きだ。地域館が大切だ。

ヒアリングノート

◇経済観光担当部門と図書館本館の連携について

- ビジネス支援の場面での協働について。(資料、支援事業)
- 行政の一部門から見て、図書館の行政支援に期待すること。
- ビジネス利用者層から求められる図書館本館の場について。

→経済観光担当と連携する図書館担当の部門化、
そして、担当人材の専門性/スキルの蓄積を。

2018.02.02.AM11:00~12:00 第1回打合わせ

- 出席
- 経済観光課：宮崎課長、齋藤主査、増谷主事、
 - 図書館担当：中島本館整備担当課長
笹原企画運営担当主査
 - コンサル：寺田、中野

◇検討委員会への伝達項目

◇ビジネス支援施策のこれまでとこれから

- ・ベルブ永山の創業支援施設「ビジネススクエア多摩」について閉館を含むあり方を検討している。これまで多摩信用金庫・多摩大・多摩市(嘱託相談員の配置)の三者連携で創業支援機能や会議室提供を行ってきた。
- ・図書館にビジネス支援を専攻する人(キーマン)の配置が必要。市の担当職員も相談者も、相談する図書館の窓口が見えること。オンラインデータベースの利用に導くなどスキルがあること。
- ・統計書を超えて何が提供できるか。
①利用者を手探りで支援②利用者を専門家に繋ぐ③専門家を支える

◇ビジネス支援施策部門を支援できるか

- ・業務はインターネット検索で充足している。課題は総合化されている。白書など個別資料の提供では、市民も部門も事足りない。
- ・施策部門と図書館担当と継続的なトレーニングと連携が必要か。
- ・逆に、図書館の資料選書に、施策部門から助言を得られるか。

◇多様な市民が集まる図書館本館の場に

- ・現在のビジネススクエア多摩に替わるビジネスの拠点「溜まり場」を図書館に。
- ・市内企業や市内産品のプレゼンススペースを図書館に。
- ・定年後の市民人材の溜まり場、情報交換の場を図書館に。
- ・日常に流通する求人情報や企業情報、チラシ収集、プレゼンススペース

→ 図書館に ビジネス支援の場と
ビジネス司書 を図書館事業として

- ビジネス支援を求める市民に、図書館本館整備で、出会いと溜まり場提供を。
- ビジネス支援担当する図書館員配置と、スキル蓄積が信頼に。(配置移動の方法)
- ドキュメンテーション図書館奉仕でなく、コンサルティング奉仕が求められる。図書館員のスキルだけでは役立たない。
- 鳥取県立図書館ビジネス支援策の実践
参照情報：多摩市立図書館本館基本構想資料編2-05-11~18
- 浦安図書館視察資料から
 - ・創業支援セミナー：年4回118人支援
 - ・同上蓄積からのパスファインダー
 - ・商用データベース6種の利用提供
 - ・地域関連記事のスクラップ
 - ・地域折り込み広告の収集

